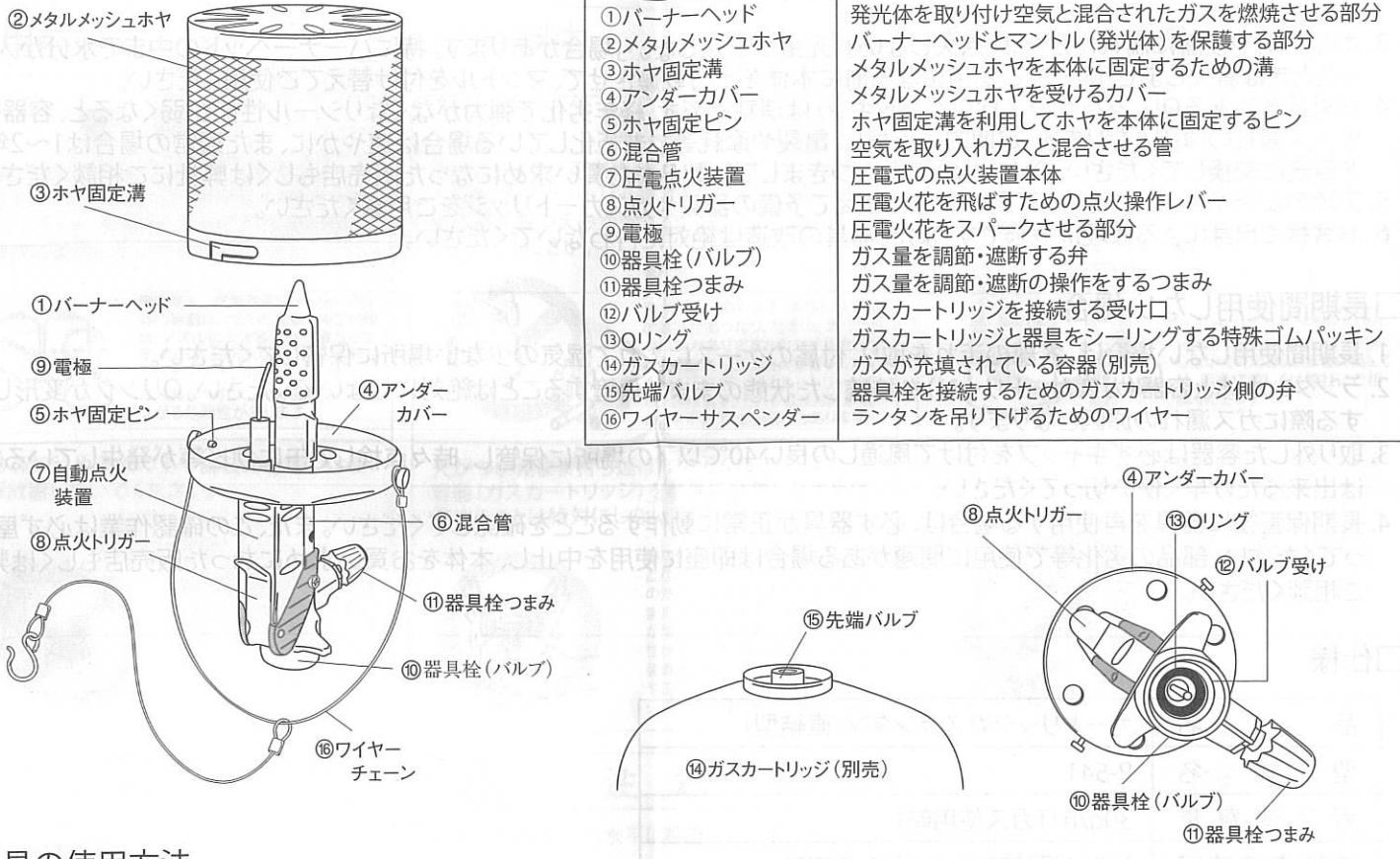


## □各部の名称と働き



## □器具の使用方法

### ■容器(ガスカートリッジ)と本体の接続

- 必ず周囲に使用中の燃焼器具および火気の無い屋外で作業を行ってください。
- ガスカートリッジのキャップを取り外します。取り外したキャップは保管の際に必要ですので捨てないでください。
- 本体の器具栓つまみを右(マイナス方向/時計の回転方向)に回して器具栓が完全に閉じていることを確認してください。  
また、バルブ受け口や容器の先端バルブ、Oリングに破損が無いこと、ゴミ等が付着していないことを確認してください。  
ゴミ等がある場合は取り除いてください。
- ガスカートリッジの先端バルブが器具のバルブ受けに入るように垂直に正しくセットしてねじ込みます。この時、無理にねじ込まず容器を回して自然に止まるよりややきつめにねじ込んで止めてください。また、ガスカートリッジは斜めにしないで必ず正立の状態で器具を取り付けてください。
- ガスカートリッジの装着が完了したら、必ず器具が水平になる場所に設置してご使用ください。

**容器(ガスカートリッジ)** 内部は気層と液層に分かれています。通常は気層から出るガスを空気と混合し燃焼させます。ガスの残量確認のためにガスカートリッジを振ったり、落下等の衝撃を与えた後は、この気層と液層の状態が不安定になり、器具を取り付けて器具栓を開いた時に液状のガス(白い霧状の気化していないガス)がそのまま噴出する場合があります。この液体のガスに着火しますと非常に大きな炎となり大変危険です。その場合は一旦消火して容器を平坦な場所に置き、2~3分ほど放置して容器内の気層と液層を安定させてからご使用ください。

### △注意

### ■マントル(発光体)の取付け(各部の名称を参照してください。)

- ※下記のマントルの焼成作業は必ず火気や引火物の無い屋外で行ってください。
- 本体のメタルメッシュホヤ部を上から見て左方向(時計の逆回転)に止まるまで回し、上に引き抜いて取り外します。
  - 付属の専用マントル(発光体)を袋から取り出して、上下にあるマントルの穴の大きさを確認してください。穴が大きい方が下になります。
  - マントルをバーナーへッドに差し込んで取り付けます。この時、マントルの下穴はバーナーのクビレ位置まで被せてください。  
マントルの上穴はバーナーへッドの上先端部にかけてください。
  - 取り付けたマントルの縁を全体的に外側に少し引っ張り、形を整えしっかりと取り付けます。
  - 十分に広げたマントルの端部にライターやマッチ等で点火してマントルを焼きます。マントルに火が着いたら器具栓つまみを左(プラス方向)に少し回して少量のガスを出します。
  - マントル全体に火が回ると同時に、刺激臭のある煙が出ます。煙を吸い込まないように注意して、そのままマントル全体が白くなるまで焼き続けます。
  - 焼き続けますとマントルがきれいな形になってまぶしい光が出てきます。

### 8.一旦ガスを止めて消火した後に、マントルを壊さないようにメタルメッシュホヤを被せます。

メタルメッシュホヤの下部にあるホヤ固定溝を、本体のアンダーカバー部にあるホヤ固定ピンに正しく合わせて押し込み、上から見て右方向(時計の回転)に止まるまで回し固定します。

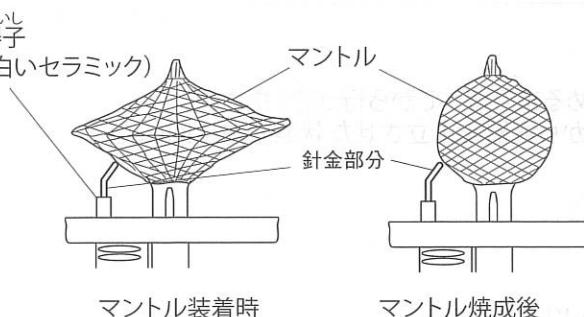
※マントルは焼成されると灰になって光ります。灰になったマントルは非常に壊れやすいので指や棒などで絶対に触れないでください。マントルは消耗品ですので、器具と一緒に必ず予備のマントルをご用意ください。

## マントルの焼成手順



### <正しい装着例>

マントルを取り付ける際は、下図のように電極の針金部分のみにマントルを突き刺して装着してください。

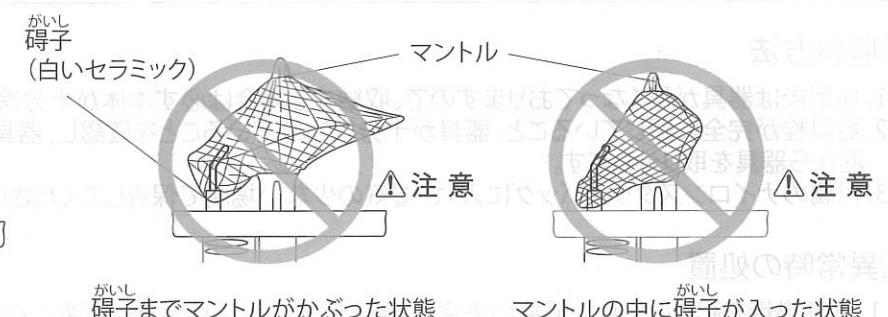


マントル装着時

マントル焼成後

### <悪い装着例>

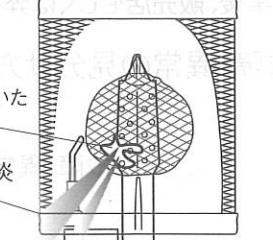
下図のように圧電点火装置の碍子(白いセラミック)までマントルを被せますと異常燃焼の原因となり、そのまま使用するとランタン本体が異常過熱され大変危険です。



△注意  
碍子までマントルがかぶった状態

△注意  
マントルの中に碍子が入った状態  
(焼成後)

- マントルは消耗品です。
- マントルに穴が開いたり、割れたりしている場合はすぐに新しいマントルに取り替えてください。
- マントルに穴や割れが生じた状態でご使用されますと、その部分から集中して炎が噴き出し、ランタンが異常過熱され器具の故障、破損だけでなく火災事故や爆発事故の原因となる場合があります。
- マントルの取付けは必ずメタルメッシュホヤを外した状態で、火気や引火物の無い屋外で行ってください。



穴から炎が噴き出した状態

## □操作方法

### ●点火

- 点火操作は必ず水平な場所で行ってください。
- 器具栓つまみを少し開いて、続けて点火トリガーを指で「パチッ」という音がするまで押し下げます。風が強い時は一度で点火しない場合があります。その場合は続けて数回点火操作を行ってください。
- 数回以上操作しても点火しない場合は、一旦ガスを止め最初から行ってください。
- 点火装置の故障等で点火しない場合はマッチ等で点火します。マッチ等の火をマントルに近づけてガスを少量出します。マントルは壊れやすいのでマッチ等でマントルに触れないよう注意してください。
- 着火して明るくなったことを確認できたら、器具栓つまみを調節してお好みの明るさでご使用ください。



器具栓つまみ

- 上部1m、周囲30cmに燃えやすいものを置かないでください。ランタンは熱を発しますので、火傷・火災には十分ご注意ください。また、お子様が手を触れないよう十分ご注意ください。

- 器具は必ず水平なところでご使用ください。器具が斜めになっていますと、転倒や異常燃焼の原因となり、火災事故につながる危険があります。

### △注意 メタルメッシュホヤの取り付け、取り外しは必ずランタン本体を正立させた状態で行ってください。